

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	主要地方道名古屋祖父江線（清洲橋）				
事業箇所	愛知県清須市朝日～清須市一場				
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋祖父江線は、名古屋市西区から稲沢市に至る延長約5kmの路線であり、名古屋市中心部から岐阜方面を結ぶ重要な路線である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該路線に架かる清洲橋は、架設から80年以上を経過しており、現在の耐震基準を満足していない。また、交差する五条川の、清洲橋付近の河川幅員が狭小となっており、河川の流下能力不足が課題となっている。</p> <p>このため、「地震・津波対策の強化」、「風水害・土砂災害対策の強化」を主な目的として、緊急輸送道路としての地震対策及び河川改修による洪水対策を強化し、大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて円滑な救援・復旧活動を行うため、主要地方道名古屋祖父江線の清洲橋の架替事業を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 地震・津波対策の強化</p> <p>(2) 風水害・土砂災害対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H17)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成17年度 ～26年度	平成17年度 ～35年度	用地買収が難航したため事業期間を延期	
	事業費（億円）	13.3	14.8		
	経費内訳	工事費	11.2	12.7	仮橋計画をしたため工事費が増加
		用補費	1.0	1.0	
その他		1.1	1.1		
事業内容	橋梁整備 橋長L=70.6m 幅員W=17.5m 2車線	橋梁整備 橋長L=70.6m 幅員W=17.5m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <p>清洲橋は、架設から70年をこえる老朽橋であり、現在の耐震基準を満足していない。また、交差する五条川の河川幅員が狭小で河川の流下能力不足が課題となっていた。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>清洲橋が架設から80年をこえ、緊急輸送道路としての耐震性を確保する必要性が増している。また、五条川の河川改修が、下流より計画的に実施されており、それに同調して、事業を進める必要がある。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>清洲橋の老朽化は進んでおり、橋梁点検においても、剥落等の箇所が多くあり、事業の必要性が高まっている。また、五条川の河川改修も順調に進んでおり、清洲橋の下流までの河川改修が完了していることから、河川の流下能力を確保するためにも、早期に本事業の完了が望まれる。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	判定	A	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】 清洲橋の老朽化は進んでおり、定期点検においても、剥落等の箇所が多くあり、事業の必要性が高まっている。また、清洲橋下流までの五条川の河川改修も順調に進んでいるため、河川改修を進捗するためにも事業の早期進捗が望まれている。</p>																																																																																																																		
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H17~H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">工種 区分</td> <td style="text-align: center;">調査・設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">用地補償</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事</td> <td></td> <td colspan="8" style="text-align: center;">←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">事業費 (億円)</td> <td style="text-align: center;">計画</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">10.5</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">3.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0.07</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">14.8</td> <td style="text-align: center;">9%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0.0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">12.7</td> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">70%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">55%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約85%</p>												H17~H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	工種 区分	調査・設計	←→									用地補償	←→									工事		←→								事業費 (億円)	計画	10.5					3.0					実績	1.3											これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	-	0	-	0.07	0	事業費(億円)	-	1.3	-	14.8	9%	工事費	-	0.0	-	12.7	0%	用補費	-	0.7	-	1.0	70%	その他	-	0.6	-	1.1	55%
			H17~H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																																																																																										
工種 区分	調査・設計	←→																																																																																																																			
	用地補償	←→																																																																																																																			
	工事		←→																																																																																																																		
事業費 (億円)	計画	10.5					3.0																																																																																																														
	実績	1.3																																																																																																																			
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																	
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																
延長(km)	-	0	-	0.07	0																																																																																																																
事業費(億円)	-	1.3	-	14.8	9%																																																																																																																
工事費	-	0.0	-	12.7	0%																																																																																																																
用補費	-	0.7	-	1.0	70%																																																																																																																
その他	-	0.6	-	1.1	55%																																																																																																																
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・用地買収難航者があり、その対応に不測の日時を要した。</p>																																																																																																																				
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、また、工期延期の要因となった用地買収にも目途が立ったため、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】 ・平成35年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																				
判定	B	<p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B： 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																			

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業が長期化していたが、用地買収にも目途が立ったことから、今回、事業期間を延長したことにより、平成 35 年度までに整備完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 		